

平成 24 年度第 1 回神戸市保健医療審議会
保健医療連絡協議専門分科会（議事録）

日 時 : 平成24年4月20日（金）午後2時00分～2時43分
場 所 : 神戸市医師会館 3 階市民ホール
議 題 : 病院開設許可事務に係る意見について
・〈継続審議〉（仮称）医療法人社団 董会 伊川谷病院

病院開設許可事務に係る意見について

事務局より、参与の交代について報告、定足数の確認（委員総数 17 名中 11 名の出席で有効に成立）、資料の説明

【（仮称）医療法人社団 董会 伊川谷病院】

開設者より資料 2 の説明

[質疑]

- 副分科会長
標榜科目については資料に記述されているとおりでよろしいか。
- 開設者
前回の説明との変更点は、消化器内科をとりさげたことである。
現在の病院との変更点は、泌尿器科をとりさげ、外科のうち、乳腺外科と肛門外科を細分化して標榜している点である。
- 副分科会長
地元の西区医師会と十分話しあわれた上で、本日も説明にいらっしゃっているのか。
- 開設者
昨年より、協議を十分させていただいてきたと認識している。
- 副分科会長
地域医療連携室は設置されるのか。
- 開設者
現在の病院で、既に設置している。
- 副分科会長
その連携室には専属の職員、或いは医師が在席されているのか。
- 開設者
3名の専属職員を配置している。
- 副分科会長
現在稼動している 60 床で 3 名の配置ということであるが、将来 106 床全床稼動した場合は、どのような計画であるのか。
- 開設者
今後もう 1 名、新たに社会福祉士を採用し、4 名体制とすることを考えている。
- 副分科会長
将来のビジョンについて聞きたい。
- 開設者
現在は 60 床の運営が精一杯であり、非常に厳しい環境で病院を運営している。現病院の前の運営法人に対する風評で、新たに職員を採用することが難しい状況であるが、新病院に移転することで、うまく運営していくことができると考えている。
- 委員
西区医師会の意見書には、名称に関して承認すると記述されている。名称以外のことについて、連携であるとか、標榜科目の問題等に関しては意見が出ているのか。

- 開設者
西区医師会長より標榜科目についてのご指摘があり、書面を提出し説明させていただいた。その上で、今回の意見書をいただいている。
- 委員
意見書では、標榜科目について記述されておらず、西区医師会の意見が読みとれない。
- 開設者
西区医師会との協議事項については、その8割程度が標榜科目に関するものであった。その点については互いに文書を交わしながら、協議してきた。当社団も、最終的な文書に標榜科目の記述がなかった点について、西区医師会の意図を、理解しかねている。
- 委員
協議に時間がかかった原因である標榜科目について、西区医師会はどのように言及していたのか。
- 開設者
常勤医の人数が、標榜科目に対し少ないのではないかと言われていた。しかしながら、非常勤医師の人数と、どのようなシフトで対応しているかということを説明し、今後も非常勤医師が定期的に応診するのであれば結構であるとの意見は、口頭ながら、いただいている。
- 委員
乳腺外科というのは、具体的に何をされるのか。
- 開設者
乳腺の検診、診断、手術である。
- 委員
手術というのは、がんに対応されるということか。
- 開設者
乳がんである。
- 委員
病理検査の設備は設置しているのか。
- 開設者
外注であるが、近隣で迅速に病理検査を行える施設と連携している。
- 委員
最近の乳腺外科には、スピードと先端技術が要求されることをご留意いただきたい。また、神戸市第二次救急病院協議会には加盟されるのか。
- 開設者
加盟申請することを検討している。
- 委員
他病院との差別化を図ることができる機能、設備が据えられていると資料に記述されているが、具体的にどのような差別化が図られているのか。
- 開設者
検診を充実させるため、1.5テスラのMRIの導入を予定しており、現在工事に入っている。(MRI=Magnetic Resonance Imagingの略。磁石と電磁波の力を利用して人体の様々な内部構造を画像にする画像診断装置のこと。磁場が高ければ高いほど画質は良くなる。現在のMRI装置の多くが0.5テスラ~1.0テスラであり、1.5テスラとは、現在のMRI装置の中で最高クラスの解像度を持つ装置となる。)
- 委員
近隣に兵庫県がんセンターがあるため、そこで差別化を図るとするのは相当難しいハードルを越えていかれるおつもりなのかと考えたが、いかがか。
- 開設者
地域の住民の検診、診断が最も大切なことであり、当院で対応ができるというの

が大事なことであると考えている。例えば通常、マンモグラフィーの設備があっても読影できる医師が少ないが、当院では 3 人の資格者が在籍していることも強味であると考えている。

● 委員

繰り返しになるが、常勤医師は何名在籍されているのか。

○ 開設者

現在は 5 名であり、5 月にはもう 1 名の常勤医師の採用がほぼ内定している。更にその後、もう 1 名の婦人科医師の採用を予定しているところである。

● 委員

非常勤医師は 20 名以上在籍されているとのことであるが、毎週同じ医師が同じ曜日に同じ科目を診療するのか。

○ 開設者

そのとおりである。たとえば循環器内科が週 4 日を 4 名で応診している。

● 智委員

看護師確保の方策について聞きたい。

○ 開設者

業者を通しての応募や、職員の知人などからの紹介で、現在では常勤換算で 28 人程度の看護師が在籍している。7 月には必要数を充足する見込である。

(開設者退室)

[審議]

● 委員

人員配置では、かなり厳しい体制で運営されていることから、人員を着実に確保し、医療安全など、医療機能を確保した上で、事業を進めていただきたい。

● 副分科会長

西区医師会としても、安心して医療を受けられる体制が整備できないのではという懸念がある一方、長く手続きを止められないということもあり、あのような意見書になったと聞いている。

医療機関とは、地域でどのような医療を展開していきたいという理念をもって開設されていくわけであるが、そういった点が見うけられない点、心配している。地域連携を十分に実施していただきたいし、病院機能の向上をめざしていただきたいが、グループ内で患者のやりとりばかり行い、はたして地域のために医療を提供されるのか、懸念する。

● 分科会長

書類上は要件が整っており、開設を拒否するような事項はみうけられない。お二人の委員が言及された点及び、地元医師会との連携について意見するという点でよろしいか。

(異議なし)

◎ 事務局

本日の審議について、当分科会の意見書並びに議事録の文案を事務局で作成し、分科会長、副分科会長の確認を経て、本日出席委員にご確認いただいた上、県に提出させていただく。

● 分科会長

それでは閉会とする。

以上